



2014年10月31日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 金城 照夫
(TEL . 06-6201-2461)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、為替差損の計上および

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2014年5月12日に公表しました2015年3月期第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたこと、2015年3月期第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)において、為替差損の計上を行うことおよび最近の業績の動向等を踏まえ、2015年3月期の通期(2014年4月1日～2015年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

・業績予想値と決算における実績値との差異について

2015年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異(2014年4月1日～2014年9月30日)
(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	40,000	900	900	400	15.41 円
今 回 発 表 実 績 (B)	40,990	795	288	214	8.25 円
増 減 額 (B - A)	990	105	612	614	-
増 減 率 (%)	2.5	11.7	68.0	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2014年3月期第2四半期)	36,030	327	798	198	7.67 円

・差異が生じた理由

当第2四半期累計期間の業績は、円安基調で推移したことから海外売上高は増加しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を上回りました。また、営業利益につきましては、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しい実績となったため、前回の予想を下回りました。

また、経常利益につきましては、後述の「 為替差損の計上について」に記載のとおり、為替差損を営業外費用に計上したため、前回の予想を下回り、四半期純利益は、赤字の実績となりました。

・為替差損の計上について

昨今の為替相場の変動により、2015年3月期第2四半期連結累計期間において、為替差損431百万円を営業外費用に計上いたします。これは、主に2015年3月期第2四半期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

なお、通期の為替差損益の額につきましては今後の為替相場の動きにより変動いたします。

・業績予想の修正

2015年3月期通期連結業績予想数値の修正（2014年4月1日～2015年3月31日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	82,500	2,200	2,200	1,000	38.54 円
今 回 修 正 予 想 (B)	83,500	1,300	1,150	350	13.49 円
増 減 額 (B - A)	1,000	900	1,050	1,350	-
増 減 率 (%)	1.2	40.9	47.7	-	-
(ご参考) 前期実績 (2014 年 3 月 期)	75,174	875	2,607	280	10.80 円

・修正の理由

海外事業につきましては、円安基調で推移したことから海外売上高は増加すると見込まれます。その結果、売上高につきましては、前回の予想を上回る見込みとなりました。また、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しいと見込まれるため、その結果、営業利益につきましては、前回の予想を下回る見込みとなりました。

また、経常利益、当期純利益につきましては、前述の「 ・為替差損の計上について」に記載のとおり、為替差損を営業外費用に計上することにより、前回の予想を下回る見込みとなりました。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上